

食育推進料理コンテストの開催

事業実施主体:五島市(長崎県)

- 五島市では、食育を推進するために、五島市の恵まれた食材・多彩な食文化を活かし、地域全体で食育を実践する環境を整えていくことが重要である。
- そこで、地産地消推進、減塩及び多様な食体験の機会とするために、食育推進計画策定時(平成24年度)から食育推進料理コンテストを実施している。
- 入賞作品は市内の学校給食メニューに取り入れられ、コンテストの実施が地元食材の魅力の再発見につながっている。

長崎県



(位置図)

五島市



【取組の内容】

【食育推進料理コンテストの開催】

- 小中高校生を対象とした料理コンテストを開催。
今年度は「自分で食べたい、家族と食べたいおにぎり」を募集。
- 子どもの食体験の機会を増やすため、応募条件や審査を工夫し、年々応募者が増え、令和元年度は97人、令和2年度は295人、令和3年度は460人の応募があった。
- 応募者の増加については、夏休みの宿題として取り組む学校が増えたこと、コロナ禍の影響により家庭で過ごす時間が増えたことなどが要因となっている。

【入賞した作品の一部】



【ブタカナおにぎり】



【五島茶おむすび】

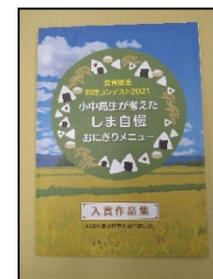
【ピーマン主役の
いろどりおにぎり】

【取組の成果】

- 入賞作品の展示やリーフレットを市民に配布することにより、食文化の継承、地域の魅力の再発見につながっている。



【入賞作品の展示】



【リーフレット】

～応募した子供たちの意見～

- 普段作っているおにぎりの中身を工夫した。
- 地元の食材売場に行き、中身の組み合わせを考えた。
- お茶がらを使おうと工夫した。
- 地元の食材を知る機会になった。

～体験の機会が意識の向上につながっている～